

第79回 簿記実務検定第2級試験問題

商業簿記

(制限時間 1 時間 30 分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	当 座 預 金	受 取 手 形	不 渡 手 形
売 掛 金	積 送 品	仮 払 法 人 税 等	支 払 手 形
買 掛 金	未 払 法 人 税 等	社 債	資 本 金
資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	売 上	受 取 利 息
社 債 償 還 益	仕 入	租 税 公 課	創 立 費
株 式 交 付 費	社 債 償 還 損	長 岡 支 店	村 上 支 店
本 店	法 人 税 等	試 用 販 売 契 約 品 (試 用 販 売 契 約 品)	試 用 仮 売 上

- a. かねて、東京商店に販売を委託してあった商品
(仕入原価 ￥962,000 発送諸掛 ￥18,000)
について、同店から右の売上計算書とともに手取金を
小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

売 上 計 算 書	
売 上 高	￥1,400,000
諸 掛	
保 管 料	￥ 9,200
雑 費	4,800
手 数 料	70,000
差引手取金	84,000
	￥1,316,000

- b. 新潟商会の本店は、村上支店が長岡支店に現金
￥320,000 を送付したとの通知を受けた。ただし、
本店集中計算制度を採用している。(本店の仕訳)

- c. 試用販売のため、長野商店に売価 ￥870,000 の商品を送付していたが、本日、同店からこの商品を買
い取るとの通知を受けた。なお、商品の発送時に対照勘定を用いて備忘記録をしている。

- d. かねて、商品代金として南北商店から裏書譲渡されていた約束手形が不渡りとなり、手形金額
￥550,000 と償還請求費用 ￥3,000 をあわせて償還請求していたが、本日、請求金額と期日以後の
利息 ￥1,000 を現金で受け取った。

- e. 愛知物産株式会社は、事業規模拡大のため、あらたに株式200株を/株につき ￥170,000 で発行し、
全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、/株の払込金額のうち ￥70,000
は資本金に計上しないことにした。なお、この株式の発行に要した諸費用 ￥250,000 は小切手を振り
出して支払った。

- f. 三重商事株式会社は、法人税・住民税及び事業税の確定申告をおこない、決算で計上した法人税等の額か
ら中間申告のさいに納付した額を差し引いた ￥740,000 を現金で納付した。

- g. 岐阜商事株式会社は、割引発行した社債 額面総額 ￥30,000,000 (帳簿価額 ￥29,280,000)
のうち、額面 ￥20,000,000 を額面 ￥100 につき ￥97 で小切手を振り出して買入償還した。

2

- 次の取引を特殊仕訳帳としての当座預金出納帳と仕入帳に記入し、総勘定元帳と買掛金元帳に転記しなさい。
- ただし、i 総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。
- ii 特殊仕訳帳は、月末に締め切るものとする。
- iii すでに記入してある取引も転記すること。
- iv 総勘定元帳と買掛金元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
- v ほかに特殊仕訳帳として、現金出納帳と売上帳を用いている。

取引

1/月20日 福井商店から1/9日に仕入れた商品について、品違いがあったので、次のとおり返品した。

なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。

A 品 10個 @¥800 ¥ 8,000

23日 富山商店に対する買掛金 ¥200,000 を小切手を振り出して支払った。

26日 石川商店から受け取っていた約束手形 ¥300,000 が、本日、満期となり当座預金に入金されたとの連絡を取引銀行から受けた。

29日 富山商店から次の商品を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。

B 品 700個 @¥600 ¥420,000

3

次の各問いに答えなさい。

- (1) 中部商店（個人企業）の本店・支店の貸借対照表と未達事項および本支店合併後の貸借対照表によって、次の金額を計算しなさい。

a. 支店勘定残高と本店勘定残高の一致額

b. 支店貸借対照表の商品（アの金額）

c. 本支店合併後の当期純利益（イの金額）

本店 貸借対照表

平成〇年12月31日

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	429,000	支払手形	570,000
当座預金	2,050,000	買 掛 金	1,764,000
売 掛 金	1,827,000	資 本 金	3,500,000
商 品	610,000	当期純利益	941,000
備 品	800,000		
支 店	1,059,000		
	6,775,000		6,775,000

支店 貸借対照表

平成〇年12月31日

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	235,000	支払手形	460,000
当座預金	()	買 掛 金	965,000
売 掛 金	582,000	本 店	743,000
商 品	(ア)		
備 品	240,000		
当期純損失	()		
	2,168,000		2,168,000

未 達 事 項

- ① 本店から支店に発送した商品 ¥86,000（原価）が、支店に未達である。
- ② 支店で本店の買掛金 ¥203,000 を支払ったが、この通知が本店に未達である。
- ③ 本店で支店受取分の手数料 ¥43,000 を受け取ったが、この通知が支店に未達である。
- ④ 支店で本店の従業員の旅費 ¥70,000 を立て替え払いしたが、この通知が本店に未達である。

〔本支店合併後の貸借対照表〕

貸 借 対 照 表

中部商店 平成〇年12月31日

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現 金	664,000	支払手形	1,030,000
当座預金	2,651,000	買 掛 金	()
売 掛 金	()	資 本 金	()
商 品	1,021,000	当期純利益	(イ)
備 品	1,040,000		
	()		()

- (2) 静岡商店では5伝票制を採用し、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法で起票している。よって、
- a. /月22日の略式の伝票を集計したさいの仕訳集計表の（ア）と（イ）に入る金額を計算しなさい。ただし、下記の取引について、必要な伝票に記入したうえで計算すること。
- b. 下記の仕訳集計表から、総勘定元帳に転記後の現金勘定の残高を計算しなさい。ただし、/月2/日の現金勘定の残高は ¥360,000 であった。

取 引

/月22日 富士商店に商品 ¥640,000 を売り渡し、代金はさきに受け取っていた内金 ¥100,000 を差し引き、残額は掛けとした。

入金伝票	
売 掛 金	193,000
受取家賃	140,000
前 受 金	185,000
()	()

出金伝票	
当座預金	150,000
消耗品費	17,000
買 掛 金	160,000
()	()

売上伝票	
伊東商店	475,000
熱海商店	232,000
下田商店(値引)	13,000
()	()

仕入伝票	
浜松商店	324,000
三島商店	179,000
沼津商店(戻し)	8,000
御殿場商店	269,000

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
受取手形	839,000	売 掛 金	839,000
買 掛 金	200,000	当座預金	200,000
当座預金	547,000	受取手形	547,000
当座預金	86,000	売 掛 金	86,000
消耗品費	45,000	当座預金	45,000
()	()	()	()

仕 訳 集 計 表
平成○年/月22日

借 方	平 子	勘 定 科 目	平 子	貸 方
		現 金		
		当 座 預 金		
		受 取 手 形		
		売 掛 金		(ア)
		買 掛 金		
		前 受 金		
		売 上		
		受 取 家 賃		
		仕 入		
		消 耗 品 費		
(イ)				(イ)

- (3) 北陸商店（個人企業）の下記の資本金勘定と資料によって、次の金額を計算しなさい。

a. 売 上 高

b. 期末の資本金

資 本 金	
12/31 引出金	20,000
〃 次期繰越 ()	
1/1 前期繰越 ()	
7/31 現 金	180,000
12/31 損 益 ()	
()	()

資 料	
i	期首の資産総額 ¥5,430,000
ii	期首の負債総額 ¥2,190,000
iii	期間中の収益および費用
	売 上 高 ¥
	受取手数料 94,000
	売上原価 3,809,000
	給 料 1,200,000
	減価償却費 75,000
iv	当 期 純 利 益 ¥ 870,000

4

山梨商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、損益計算書（2区分）と貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高

現金	¥ 470,000	当座預金	¥ 2,994,000	受取手形	¥ 1,250,000
売掛金	2,960,000	貸倒引当金	9,000	有価証券	1,120,000
繰越商品	1,620,000	備品	1,200,000	備品減価償却累計額	750,000
支払手形	650,000	買掛金	2,795,000	借入金	800,000
資本金	6,000,000	売上	19,421,000	受取手数料	52,000
仕入	13,924,000	給料	3,582,000	支払家賃	1,020,000
保険料	192,000	消耗品費	91,000	雑費	46,000
支払利息	8,000				

付記事項

- ① 大月商店に対する売掛金 ¥160,000 が当店の当座預金口座に振り込まれていたが、記帳していなかった。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥1,728,000
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 定額法による。ただし、残存価額は零（0） 耐用年数は8年とする。
- d. 有価証券評価高 有価証券は、売買目的で保有している次の株式であり、時価によって評価する。
甲府商事株式会社 40株 時価 /株 ¥29,000
- e. 消耗品未使用高 ¥ 23,000
- f. 保険料前払高 保険料のうち ¥156,000 は、本年4月/日からの/年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- g. 利息未払高 ¥ 4,000

第79回 簿記実務検定 2級 商業簿記 [答案用紙]

1	借	方	貸	方
	a			
	b			
	c			
	d			
	e			
	f			
	g			

1 得点	2 得点	3 得点	4 得点	総得点
---------	---------	---------	---------	-----

試験場校	受験番号

2

当 座 預 金 出 納 帳

2

平成 〇年	勘定科目	摘 要	元 丁	売 掛 金	諸 口	平成 〇年	勘定科目	摘 要	元 丁	買 掛 金	諸 口
		前ページから		350,000	480,000			前ページから		270,000	310,000
/ 16	売 上	石川商店			150,000						

仕 入 帳

2

平成 〇年	勘定科目	摘 要	元 丁	買 掛 金	諸 口
		前ページから		430,000	650,000
/ 19	現 金	福井商店	現 金		80,000
	買 掛 金		掛 け	160,000	
		A 品 300個 @¥800			

総 勘 定 元 帳

現 金		1	当 座 預 金		2
1/1 前期繰越	315,000		1/1 前期繰越	896,000	
受 取 手 形		3	売 掛 金		4
1/1 前期繰越	500,000		1/1 前期繰越	820,000	
買 掛 金		12	仕 入		18
		1/1 前期繰越 1,470,000			

買 掛 金 元 帳

富 山 商 店		1	福 井 商 店		2
		1/1 前月繰越 270,000			1/1 前月繰越 340,000

3

- (1)
- | | |
|--|--------------------------------------|
| <p>a 支店勘定残高との 〃
支店勘定致 額</p> | <p>b 支店貸借対照表の 〃
商品 (ア の 金 額)</p> |
| <p>c 本支店合併後の 〃
当期純利益 (イ の 金 額)</p> | |
- (2)
- | | |
|--------------|------------|
| <p>a ア 〃</p> | <p>イ 〃</p> |
| <p>b 〃</p> | |
- (3)
- | | |
|------------------|------------------------|
| <p>a 売 上 高 〃</p> | <p>b 期 末 の 資 本 金 〃</p> |
|------------------|------------------------|

2

得点

3

得点

4

損 益 計 算 書

山梨商店

平成○年/月/日から平成○年/2月3/日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
期 首 商 品 棚 卸 高		()	
仕 入 高		期 末 商 品 棚 卸 高	
()			
給 料		売 上 総 利 益	
()		受 取 手 数 料	
()		()	
支 払 家 賃			
保 険 料			
消 耗 品 費			
雑 費			
支 払 利 息			
()			

貸 借 対 照 表

山梨商店

平成○年/2月3/日

資 産	金 額	負 債 お よ び 純 資 産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当 座 預 金		買 掛 金	
受 取 手 形 ()		借 入 金	
貸 倒 引 当 金 ()		()	
売 掛 金 ()		資 本 金	
貸 倒 引 当 金 ()		()	
有 価 証 券			
商 品			
()			
()			
備 品 ()			
減価償却累計額 ()			

4
得点

第79回 簿記実務検定 2級 商業簿記 [解 答]			
公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援			
借	方	貸	方
a	当座預金 1,316,000 仕入 980,000	売上 1,316,000 積送品 980,000	
b	長岡支店 320,000	村上支店 320,000	
c	売掛金 870,000 試用販売上 870,000	売上 870,000 試用販売契約 (または試用品) 870,000	
d	現金 554,000	不渡手形 553,000 受取利息 1,000	
e	当座預金 34,000,000 株式交付費 250,000	資本金 20,000,000 資本準備金 14,000,000 当座預金 250,000	
f	未払法人税等 740,000	現金 740,000	
g	社債 19,520,000	当座預金 19,400,000 社債償還益 120,000	

2 当座預金出納帳									
平成 〇年	勘定科目	摘要	売掛金	諸口	平成 〇年	勘定科目	摘要	買掛金	諸口
		前ページから	350,000	480,000			前ページから	270,000	310,000
1/6	売上	石川商店 ✓		150,000	1/23	買掛金	富山商店 買1	200,000	
26	受取手形	約手入金 3		300,000	29	仕入	富山商店 ✓		420,000
			350,000	930,000				470,000	730,000
31		売掛金 4		350,000	31		買掛金 12		470,000
〃		当座預金 2		1,280,000	〃		当座預金 2		1,200,000
		前月繰越 ✓		896,000			次月繰越 ✓		976,000
				2,176,000					2,176,000

仕入帳 2									
平成 〇年	勘定科目	摘要	買掛金	諸口	平成 〇年	勘定科目	摘要	買掛金	諸口
1/9	現金	前ページから	430,000	650,000					
	買掛金	福井商店 現金 ✓		80,000					
		A品 300個 @¥800							
20	買掛金	福井商店 掛け戻し 買2	8,000						
		A品 10個 @¥800							
29	当座預金	富山商店 小切手 ✓		420,000					
		B品 700個 @¥600							
31		買掛金 12	590,000	1,150,000					
〃		繰仕入高 18		590,000					
〃		仕入戻し高 12/18		1,740,000					
		繰仕入高		8,000					
				1,732,000					

総勘定元帳

現金		当座預金	
1		2	
1/1 前期繰越	375,000	1/1 前期繰越	896,000
		31	1,280,000
1/1 前期繰越	500,000	1/1 前期繰越	820,000
		1/1	350,000
1/1 前期繰越	470,000	1/1 前期繰越	1,740,000
	8,000	1/31	8,000
	31	590,000	
富山商店			
1		福井商店	
1/23	200,000	1/1 前期繰越	270,000
		1/20	8,000
		1/1 前期繰越	340,000
		19	160,000

買掛金元帳

富山商店		福井商店	
1		2	
1/23	200,000	1/1 前期繰越	270,000
		1/20	8,000
		1/1 前期繰越	340,000
		19	160,000

3

(1)	a	支店勘定残高との本店勘定残高致	786,000	b	支店貸借対照表の商品(アの金額)	325,000
	c	本支店合併後の当期純利益(イの金額)	729,000			
(2)	a	ア	1,231,000	イ		4,802,000
	b	イ	551,000			
(3)	a	売上高	5,860,000	b	期末の資本金	4,270,000

損益計算書

山梨商店		平成〇年/月/日から平成〇年/2月3/日まで	
1		2	
1/1 前期繰越	375,000	1/1 前期繰越	896,000
		31	1,280,000
1/1 前期繰越	500,000	1/1 前期繰越	820,000
		1/1	350,000
1/1 前期繰越	470,000	1/1 前期繰越	1,740,000
	8,000	1/31	8,000
	31	590,000	
富山商店			
1		福井商店	
1/23	200,000	1/1 前期繰越	270,000
		1/20	8,000
		1/1 前期繰越	340,000
		19	160,000

(i 貸倒引当金繰入は、貸倒償却でもよい。
ii ※印の売上総利益と当期純利益の記入は、赤字でもよい。)

貸借対照表

山梨商店		平成〇年/2月3/日	
1		2	
1/1 前期繰越	375,000	1/1 前期繰越	896,000
		31	1,280,000
1/1 前期繰越	500,000	1/1 前期繰越	820,000
		1/1	350,000
1/1 前期繰越	470,000	1/1 前期繰越	1,740,000
	8,000	1/31	8,000
	31	590,000	
富山商店			
1		福井商店	
1/23	200,000	1/1 前期繰越	270,000
		1/20	8,000
		1/1 前期繰越	340,000
		19	160,000